

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

令 和 2 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

令和2年4月 ～ 令和3年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
【郡山女子大学】					
山 形 敏 明	（学術論文） 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究－介護保険住宅 改修の分析と今後の課題－	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	安心して住み続けることのできる居住 環境を整えるための施策として介護保 険制度の住宅改修がある。郡山市にお ける住宅改修の実態を分析し、在宅生 活を継続するための住宅改修の今後の 方向性について論じた。
	2. 福島県産材を利用した天井野 縁ユニット施工方法の開発	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	国産木材の杉・桧を使用し、ユニット 化した野縁を現場で施工するための実 証実験と施工方法について考察した。
安 田 純 子	（その他） （口頭発表） 1. 「アボリジニに欧米文化がも たらした食と健康・コミュニティ への影響」	単独	2020年10月29日	ことのは医療研究所 研修会（於：盛岡）	欧米文化がオーストラリア先住民アボ リジニにもたらした食と健康について の影響（変容）とコミュニティの在り 方の変化（崩壊）について、各種デー タや研究例をもとに報告した。
熊 田 伸 子	（学術論文） 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究－介護保険住宅 改修の分析と今後の課題－	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	安心して住み続けることのできる居住 環境を整えるための施策として介護保 険制度の住宅改修がある。郡山市にお ける住宅改修の実態を分析し、在宅生 活を継続するための住宅改修の今後の 方向性について論じた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 地域福祉の概念に関する家政 哲学的研究	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	今日のわが国の福祉政策の中心におか れている地域福祉の概念に関して、既 存の見解を検討するとともに、本学家 政哲学の見解を提示し、その独自性と 妥当性を論証することを試みた。
関 川 悦 雄	(学術論文) 1. 私の教育・教育学研究の歩み －教員養成の仕事を視野に入れて－	単著	2020年10月	関東教育学会紀要第 47号	本稿は、長年にわたり研究・教育や学 会の活動などに関わってきたその著者 の歩みを綴ったものである。活動の中 心は教育学研究であって、その焦点を プーバー教育に当ててその集大成を試 み、その経緯を述べた。かつ、この活 動の成果を教員養成の仕事に活かし、 その経過に言及した。
	(その他) 1. 日本とスコットランド・ドイ ツとの欧米文明の交渉事情に関す る現地調査－幕末期から明治初期 にかけて－	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	本報告書は、幕末から明治期にかけて の、日本とスコットランド・ドイツと の欧米文明の交渉事情に関してまとめ たものである。手法は幕末西南雄藩の 現地と、それらの藩と交渉のあったス コットランドやドイツの現地にも赴い て交渉当事国の交渉事情に焦点を当て、 日本は文明の何を摂取しようとしたの かを明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
山 本 裕 詞	(学術論文) 1. 学校ソーシャルワークの制度的基盤を問う	単著	2020年10月	日本学校ソーシャルワーク学会 『学校ソーシャルワーク研究 第15号』 p19～ p32	2018年7月に開催された日本学校ソーシャルワーク学会第14回全国大会（福島大学）の全体シンポジウムにおける講演と参加者とのディスカッション等を踏まえて新たに考察を行った。具体的には、学校教育法上の校長の学校経営責任が、新たな専門職の導入によって相対化されており、スクールソーシャルワーカーを含む多様な専門職が、児童生徒の最善の利益を求めて協働できる制度的環境が醸成されていることを明らかにした。
石 原 正 道	(学術論文) 1. Chiral phase transition in the linear sigma model within Hartree factorization under (1-q) expansion and free particle approximation in the Tsallis nonextensive statistics	単著	2020年5月	The European Physical Journal A 56, 145	ツァリス統計力学の下で、Hartree近似と(1-q)展開により線形シグマ模型を用いてカイラル相転移について調べた。
阿 部 恵利子	(学術論文) 福島県産材を利用した天井野縁ユニット施工方法の開発	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	国産木材の杉・桧を使用し、ユニット化した野縁を現場で施工するための実証実験と施工方法について考察した。
	(その他) 1. 木の文化を育む⑬ 福島県森林自己学習支援事業報告会+勉強会②	単著	2020年4月	林業福島No.668	森林自己学習支援事業を活用した、福島県内の大学生の活動事例と成果について報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 木の文化を育む⑭ 会津桐の文化を繋ぐ	単著	2020年 5 月	林業福島No.669	三島町における桐の栽培・調査研究をする桐専門員の取り組みについて解説した。
	3. 木の文化を育む⑮ 県産木材を利用した天井野縁ユニットの開発	単著	2020年 6 月	林業福島No.670	県産木材の杉・桧を利用した天井野縁の開発について報告した。
	4. 木の文化を育む⑯ 木の博物館～悠久の時を経た落葉 広葉樹～	単著	2020年 7 月	林業福島No.671	樹齢数百年の銘木を展示する木の博物館の取り組みについて解説した。
	5. 木の文化を育む⑰ 木地師の文化を伝える	単著	2020年 8 月	林業福島No.672	会津地方で会津漆器の発展に大きく貢献した木地師の文化について解説した。
	6. 木の文化を育む⑱ 新しい木の文化の創造	単著	2020年 9 月	林業福島No.673	伝統工芸を地域木材製品のデザイン開発に活かす取り組みについて報告した。
	7. 木の文化を育む⑲ 「行きつけの杜」をつくろう！	単著	2020年10月	林業福島No.674	日本古来の手法で森を再生する取り組みを解説した。
	8. 木の文化を育む⑳ 自然を活かし、人をつくる	単著	2020年11月	林業福島No.675	廃校となった木造校舎を活用し、森林を活かした体験型プログラムを紹介した。
	9. 木の文化を育む㉑ 世代を超えて想いをつなぐ～木と 人の共生～	単著	2020年12月	林業福島No.676	木と人の共生のために里山保全とツリークライミングに取組む活動について解説した。
	10. 木の文化を育む㉒ 技術と伝統を後世につなぐ	単著	2021年 1 月	林業福島No.677	二本松が誇る伝統家具の技術と照明器具の開発について紹介した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	11. 木の文化を育む②③ 持続可能な地域をつくる	単著	2021年2月	林業福島No.678	南会津に自生する「クロモジ」を高級な和精油の原料として活用する取り組みについて解説した。
	12. 木の文化を育む②④ こおりやま開成の杜 復活プロジェクト	単著	2021年3月	林業福島No.679	福島県の森林自己学習支援事業における郡山女子大学NLS部の取り組みについて紹介した。
瀬 谷 真理子	(学術論文) 1. 高等学校家庭科 共通教科 「家庭」の現状と学習指導における課題	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	高等学校の家庭科における共通教科「家庭」における履修の現状を把握し、課題の考察と今後の家庭科教育を考える
長 田 城 治	(学術論文) 1. 占領下神戸における土地・建物 接収とキャンプ建設に関する研究 (査読あり)	共著	2020年12月	日本建築学会計画系 論文集,778号	第二次世界大戦後、占領下の神戸に置かれた「イースト・キャンプ」と家族住宅の「六甲ハイツ」について、接収と建設の経緯と特徴を明らかにした。
	2. 占領下大阪における建物の接収と 占領軍家族住宅地区の建設に関する 研究 (査読あり)	共著	2020年12月	日本建築学会計画系 論文集,778号	第二次世界大戦後、大阪府下の占領軍による建物の接収とDH建設の特徴および周辺他都市との関係について明らかにした。
	3. 開墾地移住奨励制度による移住家屋・ 共同建造物の実態と農村生活改善像 (査読あり)	共著	2020年12月	日本建築学会住宅系 研究報告会論文 集,2020	開墾地移住奨励制度の農林省による制度の整備と運用状況の全体像の把握および地区ごとの移住家屋・共同建造物の実態について考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 英連邦軍キャンプ江田島に建設されたディペンデント・ハウジングについて（査読あり）	共著	2021年2月	日本建築学会技術報告集,65号	英連邦軍キャンプ江田島に建設されたディペンデント・ハウジングを対象に、英連邦軍の占領活動の大略と住宅を含む物資供給について検討し、オーストラリア戦争記念館に所蔵された各種写真から建物の建設活動を明らかにした。
	5. 占領期岡山における接収住宅と保養所に関する研究(査読あり)	共著	2021年2月	日本建築学会技術報告集,65号	岡山の接収住宅と保養所について、当時の原資料から把握した。
	6. 占領期札幌におけるキャンプ・クロフォードの建設経緯とその特徴について（査読あり）	共著	2021年2月	日本建築学会計画系論文集,780号	占領期の札幌豊平町真駒内に建設された占領軍基地であるキャンプ・クロフォード（CampCrawford）の建設経緯と特徴を明らかにした。
	7. 占領期名古屋における土地・建物の接収と占領軍家族住宅地区の建設について（査読あり）	共著	2021年3月	日本建築学会計画系論文集,780号	占領期の名古屋で接収された土地・建物の実態、特に市街地にあった二つの占領軍家族住宅地区の建設経緯と戦災復興都市への影響を明らかにした。
	(口頭発表)				
	1. 山居倉庫 1号倉庫について 山居倉庫の研究 その2	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、1号倉庫の概要や構造形式、特徴等を報告して、建築年代を考察した。
	2. 山居倉庫2～7号倉庫について 山居倉庫の研究 その3	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、形式が共通な2～7号倉庫について概要や構造形式、特徴等を報告して、建築年代を考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 山居倉庫 8～10号倉庫について 山居倉庫の研究 その4	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、形式が共通な8～10号倉庫について概要や構造形式、特徴等を報告して、建築年代を考察した。
	4. 山居倉庫 11号倉庫について 山居倉庫の研究 その5	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、11号倉庫の概要や構造形式、特徴等を報告して、建築年代を考察した。
	5. 山居倉庫 12号倉庫について 山居倉庫の研究 その6	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、12号倉庫の図面を新たに作成して概要や構造形式、特徴等を報告し、建築年代を考察した。
	6. 山居倉庫 三居稲荷神社について 山居倉庫の研究 その7	共著	2020年6月	日本建築学会東北支部研究報告集, 計画系,83号	山形県酒田市に所在する山居倉庫の建築調査を実施し、12号倉庫裏手に位置する三居稲荷神舎の概要や構造形式、特徴等を報告して、建築年代を考察した。
	7. 占領下別府における土地建物の 接收過程と跡地利用	共著	2020年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集,93号	大分県別府市内の接收建物について、行政資料とNARA（米国公文書館）所蔵の写真資料から所在を明らかにし、占領政策終了後の跡地利用について考察した。
	8. 占領期京都における住宅接收 の過程と改修実態に関する研究	共著	2020年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集,93号	京都市内で数多く接收された接收住宅・施設の接收過程を行政資料から把握し、建物改修の方法や実態を明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	9. 常磐炭礦内郷坑における生活 関連施設と炭礦住宅	共著	2020年9月	日本建築学会大会学 術講演梗概集,建築歴 史・意匠,2020	常磐炭礦内郷坑の生活関連施設の種類 や配置を検討し、現存する炭礦住宅遺 構の実測調査から特徴を明らかにした。
	10. 占領下日本の都市・住宅に関 する研究その16－栃木県日光にお けるホテル接収の実態	共著	2020年9月	日本建築学会大会学 術講演梗概集,建築歴 史・意匠,2020	ホテル接収において重要な都市であっ た栃木県日光を対象に、各種行政資料 等から接収施設の傾向を整理し接収の 実態を検討した。
	(報告書) 1. 伊藤家住宅主屋・前蔵・文庫 蔵調査報告書	単著	2021年3月	福島県	本宮市伊藤久男の生家に関する建物調 査を実施し、解体予定の主屋と前蔵、 および修理予定の文庫蔵に関する所見 をまとめ、各棟の実測調査により図面 を製作した。
	(デザイン制作) 1. 石工フェス in 石蔵2020に関す る広報用フライヤー制作	単著	2020年9月	国見町企画情報課歴 史まちづくり推進室	国見町と郡山女子大学人間生活学科建 築デザインコースが主催したイベント 広報用のフライヤー（6,500部）および ポスターデザインの制作を行った。
	(模型製作) 1. 国見町石蔵模型	単著	2020年9月	国見町企画情報課歴 史まちづくり推進室	「国見町の石蔵参号棟」の模型を制作 し、寄贈した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
近 内 直 美	(学術論文) 1. 地域福祉の概念に関する家政 哲学的研究	共著	2021年 3 月	郡山女子大学紀要第 57集	わが国の福祉政策は、地域福祉を推進 することに中心が置かれており、地域 福祉の概念の体系化が課題となってい る。そこで、地域福祉の既存の概念の 見解と本学家政哲学の見解を提示し、 本学家政哲学における地域福祉の概念 の独自性と妥当性を論証した。
伊 藤 真 里	(学術論文) 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究－介護保険住宅 改修の分析と今後の課題－	共著	2021年 3 月	郡山女子大学紀要第 57集	安心して住み続けることのできる居住 環境を整えるための施策として介護保 険制度の住宅改修がある。郡山市にお ける住宅改修の実態を分析し、在宅生 活を継続するための住宅改修の今後の 方向性について論じた。
鋤 野 信 子	(その他) 1. お酒の楽しみ方 「日本の食 文化の歴史」編 ③奈良時代	単著	2020年 4 月	酒販の友 No.715 p.12-13	日本食の原点となった「肉食禁止令」 や奈良時代の食の流通、書物に登場す る食べ物について解説した。
	2. お酒の楽しみ方 「日本の食 文化の歴史」編 ④平安時代	単著	2020年 7 月	酒販の友 No.718 p.8-9	絢爛豪華な平安時代の特徴を解説し、 そこに登場した女流作家たちが好んで 食べていたと思われる食べ物および食 べ方について解説した。
	3. お酒の楽しみ方 「日本の食 文化の歴史」編 ⑤鎌倉時代	単著	2020年 8 月	酒販の友 No.719 p.8-9	質実剛健の鎌倉時代の特徴を解説し、 そこに登場した武士たちのパワーの源 になった武士膳について解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑥室町～安土桃山時代・その1	単著	2020年9月	酒販の友 No.720 p.10-11	対照的な2つの文化を持つ時代背景を解説し、三代将軍はじめその他の武士たちの兵糧食と日本料理の基本となる「本膳料理」について解説した。
	5. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑦室町～安土桃山時代・その2	単著	2020年10月	酒販の友 No.721 p.10-11	安土・桃山時代、「本膳料理」に続いて登場した「懷石料理」「精進料理」について解説した。併せて、宗教と食物禁忌についても解説した。
	6. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑧江戸時代	単著	2020年11月	酒販の友 No.722 p.12-13	江戸時代には飲食店、屋台、四文屋、棒手振りなどが登場し、町民の食生活が大きく変化し、バラエティ豊かな食文化の基礎となったことを解説した。
	7. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑨明治～大正時代	単著	2020年12月	酒販の友 No.723 p.10-11	明治維新後、文明開化による肉食が普及し、外来食は洋食と称して、明治から大正時代にかけて、家庭の中に普及してきたことを解説した。
	8. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑩昭和時代	単著	2021年1月	酒販の友 No.724 p.12-13	高度経済成長期、家電製品やインスタント食品の登場によって家事の負担が減り、女性の社会進出が大きく進んだことを解説した。
	9. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ⑪昭和から平成へ	単著	2021年2月	酒販の友 No.725 p.12-13	昭和時代後半には冷凍食品や外食産業の進出を経て、飽食の時代となり、日本の食生活が見直されるようになったことについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
菊 池 節 子	(著書) 1. 新 調理学実習第二版 － 基本調理から給食への展開 －	共著	2021年 3 月	株式会社同文書院	167品目全ての調味を見直し、同時に、 学生が理解しやすいように文章表現に ついて再検討した。「日本食品標準成分 表2020年版」など最新ガイドラインに も準拠。本人担当部分：基本理論編 献 立の立て方pp.5-7、レシピ編 日本料理 pp.58、64-68、74-79、101-114 編著者：宮下朋子、村元美代 著者：菊池節子、津田和加子、 菊地和美、新海シズ
	2. えごまレシピ集	共著	2020年12月	郡山女子大学 (星総合印刷)	えごま料理コンテストや学生考案のレ シピを集めたレシピ集の発行に、試作 担当として関わった。 郡司尚子、菊池節子、柳沼和子、 本間杏菜、斎藤優理、吉村遥佳
	(その他) 「学会発表」 1. 福島県における江戸期婚礼献 立の比較－福島市・郡山市・相馬 市－	共同研究	2020年 5 月	日本家政学会 第72回大会 (高崎健康福祉大学)	福島県中通りの福島市・郡山市と、浜 通り北部の相馬市の江戸期婚礼献立を 比較し、献立構成や使用されている食 材の特徴を明らかにした。 津田和加子、菊池節子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「報告書」 1. 郡山市震災後子どものケアプロジェクト 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業 運動や食事についてのアンケート調査報告書 (2020年)	共同研究	2021年2月	認定NPO法人 郡山 ベップ子育てネット ワーク	本報告書は2020年度実施の郡山市の子どもの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。本人担当部分：食習慣、食事の様子、経年変化pp.5、9-13、72-96、136-156 菊池信太郎、中村和彦、 <u>菊池節子</u> 、長野康平、高橋千春、村山枝里
	2. 古殿町特産物“ミニトマト”の6次化実施報告書	単著	2021年3月	古殿町	古殿町の特産物である“ミニトマト”を用いて行った6次化商品開発に関する結果を報告書として提出した。
岡 部 聡 子	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な「鉄摂取尺度」の改訂および再現性の検討	共著	2021年2月 採択	日本家政学会	鉄摂取に関する栄養教育に活用できるツール開発を目指すべく、自己記入式の簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテラシー（健康情報を入手・理解・活用する力、WHO定義）の視点から改訂した。
	(口頭発表) 1. 小学生の食選択力の育成	共同研究	2020年5月	一般社団法人 日本家政学会 第72回大会 (紙上開催となる)	小学生の鉄の摂取状況とそれに伴う貧血症状について調査し、食選択力の向上について検討した。
亀 田 明 美	(著書) 1. わかりやすい給食・栄養管理の手引き	共著	2020年12月	新日本法規出版	追録第32～34号において「学校給食の休止に伴う未利用食品の活用とは」(154ノ1～2)を担当した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(口頭発表) 1. 小学生の食選択力の育成	共同研究	2020年 5 月	一般社団法人 日本家政学会 第72回大会 (紙上開催となる)	小学生の鉄の摂取状況とそれに伴う貧血症状について調査し、食選択力の向上について検討した。
	(研究報告書) 1. 栄養教諭養成機関における教育課程の実態と養成校の意識に関する研究	共同研究	2020年 8 月	日本学術振興会科学研究費助成事業 (18K02679) 栄養教諭のキャリアパスに応じた養成プログラム構築に関する研究 (郡山女子大学)	全国の栄養教諭養成機関135大学を対象に、栄養教諭養成課程の教育内容、養成者、学生へのキャリア教育などの実態を把握し報告書にまとめた。
源 川 博 久	(学術論文) 1. テアニンによるアミロイドβペプチド40の線維化抑制作用	単著	2021年 3 月	郡山女子大学紀要第57集	テアニンは、アルツハイマー病の原因と考えられるアミロイドβペプチドの線維化を濃度依存的かつ処理時間依存的に抑制した。
影 山 志 保	(口頭発表) 1. 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 (2019)	共同	2020年 6 月	日本菌学会第64回大会講演要旨集(大阪市自然史博物館) p.47	福島県内でも空間放射線量の高い地域のきのこの放射線量は高い値を示していた。空間放射線量が比較的低い地域では、きのこの種類、採取場所や部位によって放射性セシウム濃度にかなり違いが見られた。
	2. 福島県産山菜の放射性セシウム濃度の動向と問題点	共同	2020年 5 月	一般社団法人日本家政学会第72回大会研究発表要旨集(高崎健康福祉大学) p.125	ゼンマイ、ヨモギなど郡山で採取した山菜の採取場所や部位による違いから、放射性セシウムの経年変化について検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(ポスター発表) 1. 台風19号より浸水した郡山市 の放射線量と化学物質について	共同	2020年5月	一般社団法人日本家政学会第72回大会研究発表要旨集(高崎健康福祉大学) p.90	2019年10月に日本列島に上陸した台風19号により郡山市でも多くの家屋、工業団地や農地が冠水したことから、浸水した地域の水試料や土壌試料の放射線量と化学物質について調査した。水試料からはコレステロールやステロイド、カフェイン、土壌試料からは幾つかの農薬やフタル酸エステル類が検出された。また、畑地土壌から高い放射性セシウムが検出された。
黒 澤 廣 子	(その他) 1. 学会発表 (誌上開催)	共同	2020年9年	第67回日本栄養改善学会	福島県の病院における糖尿病患者の食事療法及び栄養食事指導手法についての調査
郡 司 尚 子	(著書) 「えごまレシピ集」発行	共著	2020年12月	郡山女子大学 (星総合印刷)	えごま料理コンテストや学生考案のレシピを集めたレシピ集を発行した。レシピの試作、撮影、執筆、編集を担当した。 (郡司尚子、菊池節子、柳沼和子、本間杏菜、斎藤優理、吉村遙佳)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
諏 訪 雅 貴	(学術論文) 1. The correlation between toe flexor strength and performance-based measures of physical fitness in the elderly (査読付)	単著	2021年1月	Journal of Physical Therapy Science, 第33巻第1号	足把持力は、身体活動量、歩行機能、転倒、糖尿病、認知機能などと関連する体力であり、近年注目が集まっている。本研究では、65-88歳の地域高齢者を対象として、足把持力と様々な体力との関連性を調べた。その結果、膝伸展筋力、握力、ファンクショナルリーチ、長座体前屈と正の相関関係があることが示された。 掲載頁：pp.37-39
	(その他) 「学会発表」 1. 高齢者の足把持力と他の体力との関連性	単著	2020年9月	第75回日本体力医学会大会（於：鹿児島大学）	足把持力は、上肢の握力に相当する筋力であり、加齢に伴う低下が他の筋力よりも速く、転倒や糖尿病との関連性も指摘されているが、その特徴については不明な点が多い。そこで、男女高齢者の足把持力と他の体力との関連性について検討し、男女の違いも比較したところ、足把持力は男女ともに脚伸展筋力、握力、ファンクショナルリーチと正の関連があるが、長座体前屈では、男性でのみ正の関連がみられた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
星 千 歳	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な 「鉄摂取尺度」の改訂および再現 性の検討	共著	2021年2月 採択	日本家政学会	鉄摂取に関する栄養教育に活用できる ツール開発を目指すべく、自己記入式 の簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテ ラシー（健康情報を入手・理解・活用 する力,WHO定義）の視点から改訂した。
善 方 美千子	(口頭発表) 1. 小学生の食選択力の育成	共同研究	2020年5月	一般社団法人 日本家 政学会 第72回大会 (紙上開催となる)	小学生の鉄の摂取状況とそれに伴う貧 血症状について調査し、食選択力の向 上について検討した。
柳 沼 和 子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のお かず 地魚・貝・川魚など」	共著	2020年6月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 P.10紅葉漬け、P.63めひかりの から揚げ、P.97鯉のうま煮
	2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「どんぶ り 雑炊 おこわ」	共著	2020年9月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 P.69しんごろう、P.108山菜おこわ
	3. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「年取り と正月の料理」	共著	2020年11月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 P.85おひら

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜の おかず 春から夏」	共著	2021年3月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 P.10へそ大根の煮物、P.62しそ巻き
	5.「えごまレシピ集」発行	共著	2020年12月	郡山女子大学 (星総合印刷)	えごま料理コンテストや学生考案のレシピを集めたレシピ集を発行した。 レシピの試作を担当した。 (郡司尚子、菊池節子、柳沼和子、 本間杏菜、斎藤優理、吉村遥佳)
	(研究報告書) 1. 栄養教諭養成機関における教育課程の実態と養成校の意識に関する研究	共同研究	2020年8月	日本学術振興会科学研究費助成事業 (18K02679) 栄養教諭のキャリアパスに応じた養成プログラム構築に関する研究 (郡山女子大学)	全国の栄養教諭養成機関135大学を対象に、栄養教諭養成課程の教育内容、養成者、学生へのキャリア教育などの実態を把握し報告書にまとめた。
本 間 杏 菜	(著書) 1.「えごまレシピ集」発行	共著	2020年12月	郡山女子大学 (星総合印刷)	えごま料理コンテストや学生考案のレシピを集めたレシピ集を発行した。 レシピの試作、撮影を担当した。 (郡司尚子、菊池節子、柳沼和子、 本間杏菜、斎藤優理、吉村遥佳)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な 「鉄摂取尺度」の改訂および再現 性の検討	共著	2021年2月 採択	日本家政学会	鉄摂取に関する栄養教育に活用できる ツール開発を目指すべく、自己記入式 の簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテ ラシー（健康情報を入手・理解・活用 する力,WHO定義）の視点から改訂した。
	(研究報告書) 1. 栄養教諭養成機関における教育 課程の実態と養成校の意識に関 する研究	共同研究	2020年8月	日本学術振興会科学 研 究 費 助 成 事 業 (18K02679) 栄養教 諭のキャリアパスに 応じた養成プログラ ム構築に関する研究 (郡山女子大学)	全国の栄養教諭養成機関135大学を対象 に、栄養教諭養成課程の教育内容、養 成者、学生へのキャリア教育などの実 態を把握し報告書にまとめた。
	(その他) 1. 学会発表（誌上開催）	共同	2020年9月	第67回日本栄養改善 学会	福島県の病院における糖尿病患者の食 事療法及び栄養食事指導手法について の調査
根 本 絢 香	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な 「鉄摂取尺度」の改訂および再現 性の検討	共著	2021年2月 採択	日本家政学会	鉄摂取に関する栄養教育に活用できる ツール開発を目指すべく、自己記入式 の簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテ ラシー（健康情報を入手・理解・活用 する力、WHO定義）の視点から改訂し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
【郡山女子大学短期大学部】					
齋 藤 美保子	(その他) 展覧会評 1. ダリとハルスマン	単著	2021年 3 月	『服飾美学』第67号 服飾美学会	2020年夏、諸橋近代美術館で開催された「ダリとハルスマン」展について、戦後の服飾を考える上でも、極めて重要な展覧会であったと評価した。
	テキスト 1. 郡山女子大学周辺の美学第2版	単著	2021年 3 月	郡山女子大学短期大学部地域創成学科	地域創成学科の学生および学生募集用に、開学の2018年度に作成した小冊子の第2版。プロジェクト表等を差し替え、4期生から使用する。
	随筆 1. 「ひとこと」と「学生の感想」	単著	2021年 3 月	齋正機展開催記念冊子 齋正機後援会事務所	第209回芸術感想講座リーフレットの「ひとこと」を再録し、学生の感想文から読み取れることを報告した。
會 田 久仁子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のおかず 地魚・貝・川魚など」	共著	2020年 6 月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 p.10 紅葉漬け、p.63 めひかりのから揚げ、p.97 鯉のうま煮
	2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「どんぶり 雑炊 おこわ」	共著	2020年 9 月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 p.69 しんごろう、p.108 山菜おこわ

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「年取り と正月の料理」	共著	2020年11月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 p.85 おひら
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜の おかず 春から夏」	共著	2021年3月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。 担当 p.10 へそ大根の煮物、P.62 しそ巻き
水 野 時 子	(著書) 「ライフステージ・ライフスタイ ル栄養学実習書」	共著	2020年9月	(株)光生館	身体状況や栄養状態に応じた適切な栄 養管理が学習できるよう編集された実 習書として、分担で執筆した。「第6章 学童期の栄養 (p43-48)」を担当した。
澤 渡 優 喜	(学術論文) 1. 小売店で購入可能な食品およ び食品添加物を使用した乳酸菌の 培養培地の開発①	単著	採録	郡山女子大学紀要 第57集	野菜を原料にした発酵食品を開発する ために必要な乳酸菌スターターの調製 培地を食品と食品添加物のみを使用し て開発した。
加 藤 雅 子	(著書) 1.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のお かず 地魚・貝・川魚など」	共著	2020年6月	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「どんぶり・雑煮・おこわ」	共著	2020年9月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	3.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「年取りと正月の料理」	共著	2020年12月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 春から夏」	共著	2021年3月	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
三 瓶 令 子	(学術論文) 1. 幼稚園実習における保育者の意識に関する研究－実習指導と実習評価の在り方に着目して－	共著	2021年3月	郡山女子大学 紀要 第57集	幼稚園教育実習の在り方が問われている現状を踏まえ、幼稚園教諭がどのような意識で教育実習に臨んでいるのかを質問紙調査によって明らかにした。調査対象は福島県内の幼稚園・認定こども園164園である。(柴田 卓・安部 高太郎・仲西 真美子・三瓶 令子)
一 柳 智 子	(著書) 1. 葛尾村指定無形の文化財葛尾三匹獅子舞	共	2021年3月	発行者：郡山女子大学短期大学部	2018年から調査を開始した葛尾三匹獅子舞の調査成果をまとめた。葛尾三匹獅子舞の歴史、保存会所蔵史料の翻刻、芸態、日山祭礼行事を担当する井瀬家所蔵文書などを分担し、総括を担当した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	1. 報告 「日山は天王山－葛尾三匹獅子舞 と新型コロナウイルス感染症流行 禍の状況」	単	2021年3月	『民族藝術学会誌 arts／』	葛尾村三匹獅子舞についての今般のコロナウィルス禍における現状と、疫神である日山の牛頭天王にまつわる信仰内容との関係について、希望的意義も含めての報告である。
小 林 徹	(著書) 1. 子どもの姿からはじめる領域・言葉	共著	2020年12月	みらい B5型197頁 (分担) pp182-184 pp189-197	監修：秋田喜代美・三宅茂夫、編集：秋田喜代美・砂上史子、著者：小林徹ほか13名。 保育士養成課程における領域「言葉」のテキスト。第11章第3節「領域「言葉」と小学校教育との連携・接続」および第12章「領域「言葉」と特別なニーズを持つ子ども」を担当した。
早 川 仁	(その他) 1. 福島県総合美術展	単		福島県文化センター	新型コロナ感染対策により実施中止
	2. 個展	単		マスガ画廊	新型コロナ感染対策により実施中止
	3. 郡山開成学園 美術展	単	2020年8月	郡山うすい百貨店	F-20号 キャンバス・油彩 出品作品 ・「ノアの箱舟」
	4. 福島県県南美術展	単		郡山市文化センター	新型コロナ感染対策により実施中止

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 現代童画展	単	2020年11月	東京都美術館	・「おさんぽ日和」 120-号パネル 油彩・アクリル 第46回 東京都知事賞
草 野 葉 子	(その他) ＜作品発表＞				
	1. 第70回モダンアート展	単	2020年 4 月	東京都美術館	作品：「ともに-to・mo・ni」 植物と人物をモチーフとした構成。 ※コロナ禍により展覧会は中止となり 画集掲載の発表。
	2. 郡山開成学園美術展	単	2020年 8 月	うすい百貨店ギャラ リー	作品：「とおりみち-継-」 「とおりみち-共-」 植物・昆虫・マンホール・イラストを モチーフとした構成。
	3. 第34回モダンアート福島支部 展	単	2019年 7 月	ギャラリーアブドゥ	作品「to・mo・ni-桜の下で-」 植物と人物をモチーフとした構成シ リーズⅡ。
山 上 裕 子	(著書)				
	1. 民主主義と教育の再創造	共著	2020年12月	勁草書房	デューイ著『民主主義と教育』出版百 周年を記念して企画されたもの。内容 の一部の紹介を分担執筆した。
	(学術論文)				
	1. 保育への視線の獲得に関する 考察-デューイの探究の理論を基 軸にして-	単著	2021年 3 月	保育者養成教育研究	デューイの探究の理論を基軸にして考 察し、保育活動の質の向上のための視 座の一端を明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
折 笠 国 康	(学術論文) 1. 保育職従事者の本来感と勇気 としての共同体感覚との関連	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	先行きの見えないこれからの時代を生 きていく子どもたちの勇気 (Courage) を育成するために、保育職従事者自身 の勇気についての検討を行った。具体 的には、精神的な健康や適応、well- beingとの関連が示されている本来感 (Sense of Authenticity) と 勇 気 (Courage) との関連を統計学的に検 討した。
	(その他) 1. 生徒指導に教育相談を生かす アドラー心理学の実践への導入	単著	2020年5月	『指導と評価』2020 年5月号 特集	勇気づけ、共同体感覚、目的論などの アドラー心理学の背景となる概念を整 理した。さらに、現場でのアドラー心 理学の導入の際の注意点や、実践例を 示した。
永 瀬 悦 子	(学術論文) 1. 保育者養成課程における乳幼 児救急蘇生法の教育効果の検討： 「JRC蘇生ガイドライン2015」に 基づいた救急蘇生法の教育実践か ら	単著	2020年8月	日本保育保健協議会 機関誌『保育と保健』 第26巻第2号pp61-66.	過去1年未満に救急蘇生法を学習した 保育者を対象とする学生を対象に乳幼児救 急蘇生法を学習した学びから教育方法 の効果について検討した。
	2. 保育者をめざす学生の乳児養 護体験と困難に感じる沐浴技術内 容との関係	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	保育者をめざす学生の養護体験と養護 技術に着目し、乳児養護体験と困難に 感じる沐浴技術内容との関係を明らか にした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
柴 田 卓	(学術論文) 1. 地域の資源を活かした自然保育に関する研究	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	本稿は、国内外で実践されている保育活動を基に、地域の資源を活用した自然保育の可能性について、多角的に考察を加えた。柴田卓、柴田千賀子
	2. 幼稚園教育実習における保育者の意識に関する研究 －実習指導と実習評価の在り方に着目して－	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	本稿は、幼稚園教諭がどのような意識で教育実習の指導に臨んでいるのかについて、質問紙調査から明らかにした。柴田卓、安部高太郎、仲西真美子、三瓶令子
	(学会発表) 1. 地域資源を活かした自然保育に関する研究－フィールドマップの作成に焦点を当てて－	共同	2020年11月	日本自然保育学会第5回大会発表要旨集P28-29	自然保育に関連した地域連携事業およびフィールド調査から、小野町、三春町、郡山市周辺の地域資源を調査し、地域資源を活かすためのフィールドマップを作成した。国分千帆、柴田卓
安 部 高太郎	(学術論文) 1. 職業アイデンティティに対する省察が保育者の専門性の変容に及ぼす影響：フレット・コルトハーヘンと佐藤学の省察論からの示唆	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	コルトハーヘンと佐藤の省察論を参照し、保育者の専門性の変容に「省察」がどうに関わるかを論じた。
	2. 幼稚園教育実習における保育者の意識に関する研究：実習指導と実習評価の在り方に着目して	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	幼稚園における教育実習に対する現場職員の意識を、アンケート調査から分析した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
深 谷 悠里絵	(学術論文) 1. ピアノ学習導入期の教授法と 奏法についての考察	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	ピアノ学習の導入期において効率よく ピアノ演奏技術を向上させていくため には、どのような指導法が必要なのか、 日本・アメリカ・ロシアの導入教材を 比較検討し、考察を行った。
	(その他) 1. 演奏表現学会 演奏研究発表 (オンライン開催)	単	2021年2月	録音会場(ヤマハ郡山 並木店)	ロシア音楽をテーマとする演奏研究に て「ラフマニノフ：楽興の時1・3・ 4番」を演奏。
	2. 演奏表現学会 演奏研究発表 オンラインシンポジウム	単	2021年3月	オンライン	上記の2月に行われた演奏についての 口頭発表。(オンライン開催)
仲 西 真美子	(学術論文) 幼稚園教育実習における保育者の 意識に関する研究 －実習指導と実習評価の在り方に 着目して－	共著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	本稿は、幼稚園教諭がどのような意識 で教育実習の指導に臨んでいるのかに ついて、質問紙調査から明らかにした。 (柴田卓・安部高太郎・仲西真美子・ 三瓶令子)
何 燕 生 (福島寅太郎)	(著書) 1. 『日本思想史事典』	共著	2020年4月	丸善出版株式会社	「中国史書に登場する日本」「禅宗の伝 来」などを執筆担当。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文)				
	1. 近代文明対話中東亜仏教知識 的重構－以「大乘仏教」為中心－	単	2020年 5 月	『哲 学 研 究』2020年 第 5 期、38頁-50頁、 中国社会科学院哲学 研究雑誌社、社会科 学文献出版社	これまで国際学会などで発表した内容 を踏まえ、東アジア仏教を意味する 「大乘仏教」という概念の創出につい て、カール・ヤスパースと木村泰賢の 理解の異動を比較検討し、1920年代に おける東西文明対話の一事例として 探った。
	2. 近代文明対話中東亜仏教知識 的重構－以「大乘仏教」為中心－	単	2020年 9 月	『中国社会科学文摘』 2020年 第 9 期、48頁 -51頁、中国社会科学 院、中国社会科学雜 誌社	同上論文の再録。再録字数7000字。
	3. 中国語圏における人間仏教－ その思想と実践	単	2020年 9 月	『宗 教 研 究』第94卷 第 2 輯第398号、81頁 -108頁、日本宗教学会	2020年度特集号「宗教と越境」で執筆 担 当 し た も の で あ る 。 Engaged Buddhism、Buddhist Modernismな どで捉えられてきた「人間仏教」につい て、その思想の原点を確認するととも に、その伝播の特徴と実践活動を踏ま え、再検討した。
	4. 太虚世界仏教運動中的日本 「朋友圈」－以太虚与稲葉円成的 交往為中心	単	2020年10月	『北大仏学』第 2 輯、 3 頁-28頁、北京大 学 仏 教 研 究 セ ン タ ー、 社会科学文献出版	1923-1925年太虚と稲葉円成（大谷大学 教授）の交流について検討し、太虚の 世界仏教運動における日本仏教者の存 在を探究した。なお、稲葉氏は鈴木大拙 を太虚に紹介した人物である。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 重訪「東亜仏教大会」－以日本外務省外交档案為中心的考察－	単	2020年10月	『北大仏学』第2輯、370頁-388頁、北京大学仏教研究センター、社会科学文献出版	1925年11月東京で開催された「東亜仏教大会」について、外務省外交文書を用いて、その名称の意味と開催をめぐる政治的・宗教的思惑について検討した。
	(その他) 1. 学会発表「哲学史研究における問題意識について」	単	2020年8月	「蕭箴父先生と当代中国哲学」学術研討会、2020年8月14日～15日、武漢大学哲学院ほか主催、Tencent meeting / 国際版 VooV Meeting (オンライン) にて開催	恩師・蕭箴父先生の哲学史研究における問題意識と胡適、柳田聖山(元京都大学人文科学研究所所長)のそれとについて、特に禅思想の扱い方をめぐって比較検討し、客観的な立場を標榜する近代の学問研究の特徴と今後の行方を考察した。
浅 野 章	(著書) 1. ろう城アート展	単	2020年6月	会津美術協会 会津若松市	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した作品「ダンスダンス」をWeb上にて発表。
	2. 郡山開成学園美術展	単	2020年8月	うすい百貨店8階 ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「母子像」を含め3点発表。
	3. 浅野アキラ絵画展	単	2021年2月	うすい百貨店8階 ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「華麗なる関係」を含め38点を発表。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
齊 藤 弘 久	(著書) 1. 第35回埼玉県版画家協会展	単著	2020年7月	川越市立美術館(埼玉県)	「Sura-Mera」ジクレー
	2. 郡山開成学園美術展	単著	2020年8月	うすい百貨店ギャラリー	「Chan-Daka」ジクレー 「Yaku-Sha」ジクレー
	3. 『葛尾村指定無形の文化財 葛尾三匹獅子舞』	共著	2021年3月	郡山女子大学短期大学部	2018年から調査を開始した葛尾三匹獅子舞の調査成果をまとめた。編集担当。
桑 野 聡	(学術論文) 1. 「二人のヨーロッパ中世史家の思い出－柴田忠作先生と里見元一郎先生の研究を振り返って」	単	2021年3月	郡山女子大学紀要第57集	筆者の恩師にあたる二人のヨーロッパ中世史家が2019年に亡くなられたことを受け、お二人の研究業績を振り返ることで20世紀後半から現代に至る我が国のヨーロッパ中世史研究の動向を整理・紹介した。
	(その他) 1. 「ホモ・ルーデンスをめざして－専攻科学生との学びの連鎖が生んだもの」		2021年3月	『地域と文化－郡山女子大学短期大学部専攻科創設20周年記念－』31-37頁	本学専攻科文化学専攻20周年を記念して、これまで一緒に学んできた19人の学生との思い出をまとめました。
會 田 容 弘	(学術論文) 1. 「焚火周辺の旧石器人の行動－笹山原遺跡No.16の資料を用いて－」	安斎妃菜と共著	2020年12月	『第34回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集』p.1-8(電子版)	笹山原遺跡No.16第3石器集中で確認した焚火跡を中心に、石器製作使用の動作連鎖研究方法および具体的研究事例を提示した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 「大隅遺跡出土石器の再検討 －型式学と技術学による検討－」	単著	2020年12月	『山形考古』 第50号 pp.1-15	岩宿遺跡発見以前に確認されていた山形県大隅遺跡の石器は、研究史の上でその位置づけが失われていた。それを型式学と技術学的に再評価を行った。
	3. 「郡山女子大学短期大学部専攻科文化学専攻における考古学教育」	単著	2021年1月	『地域と文化－郡山女子大学短期大学部専攻科創立20周年記念－』 pp.38-49	専攻科における考古学教育20年を振り返り、その実践的教育がはたす地域社会への貢献と今後の見通しについて論じた。
	4. 「大津絵研究の新視点」	単著	2021年3月	郡山女子大学研究紀要第57集	民画として柳宗悦によって評価された大津絵が海外から注目されている。しかし、歴史資料研究として、その方法が確立されていない。そこで、考古学的方法を駆使しながら、新しい研究方法を提案し、実践例を示した。
	5. 「結髪土偶は自立していたのか－動作連鎖研究から見た縄文土偶－」	単著	2021年3月	『山形大学附属博物館クラウドファンディング報告書』	山形大学附属博物館で行った公開講演をもとに、結髪土偶脚部接合の経緯と動作連鎖の視点から見た土偶研究の見通しを述べた。
	(その他) (口頭発表)				
	1. 「郡山女子大学短期大学部地域創成学科における地域貢献の試み－パブリックアーケオロジーの実践－」	単独	2020年10月	2020年東北史学会大会（於：山形大学）	地域創成学科で行っている笹山原遺跡の発掘調査と「発掘ガール」展示をとりあげ、その活動が地域貢献であり、また近年注目されるパブリックアーケオロジーの実践例として位置付けられることを主張した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(公開講演) 1. 山形大学附属博物館公開講座 「結髪土偶立ち上がる！」 第2回「動作連鎖からみた縄文土 偶」	単独	2020年11月	山形大学小白川キャンパス人文社会科学部1号館1階103教室	山形大学附属博物館保管の結髪土偶の脚部接合の経緯と土偶研究法について、動作連鎖の視点を導入することを主張した。さらに山形県西ノ前遺跡出土国宝土偶は縄文人の失敗作であった可能性を指摘した。
知 野 愛	(著書) 『日本キリスト教歴史人名事典』	共著	2020年8月	教文館、p.23	「浅賀ふさ」(人名項目)、明治27年生まれ、日本初の医療ソーシャルワーカー(MSW)。結核患者の療養援助等に取組み、昭和12年「母子保護法」や戦後「児童福祉法」制定に携わった後、中部社会事業短期大学で社会福祉専門職を目指す学生達への教育に尽力した。
	(その他) 1. 「家族の変容と家庭教育支援」 (公開講演)	単著	2020年11月	令和2年度家庭教育支援者研修会講演記録(福島県教育庁県中教育事務所主催第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議別冊資料) p.15	家族の変化として少子化、晩婚化、晩産化、共働き世帯の増加等の統計を示した上で、子育て中の親の悩みに関する調査結果や支援策、カナダでの親教育支援プログラム、地域を挙げて誕生を祝い子育てに取組むフィンランドの施策を紹介した。
	2. 2020年度生活経営学部会総会・地区活動報告「北海道・東北地区」	単著	2021年3月	生活経営学研究No.56(2021) p.2	家政学会生活経営学部会の北海道東北地区委員として、今年度の地区会活動状況について報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 「専攻科創設20周年記念に際 しての思い」	単著	2021年1月	『地域と文化－郡山 女子大学短期大学部 専攻科創設20周年記 念－』 pp.29-30	専攻科創設20周年にあたり、これまで の道のりを振り返り専攻科創設時の目標 等を再考し今後の決意を新たにしたこと について述べた。
小 松 太 志	(展覧会) 1. 第33回モダンアート福島支部 展	単	2020年11月	ギャラリーアブドゥ ／福島県会津若松市	美術団体モダンアート協会福島支部の 会員による展覧会。出品作品「流々」 「灰々」
	(デザイン) 復興の灯火プロジェクトの広報 ツールのデザイン	単	2020年12月	復興の灯火プロジェ クト	復興の灯火プロジェクトのロゴマーク、 チラシ、ポスター等をデザインした。
松 田 理 香	(作品発表・展示会等) 1. 2020現代童画会夏季展	単	2020年8月	会 場： 銀 座 ア ー ト ホール（東京都中央 区銀座）	主催：現代童画会 作品名：「空の事情」（S8号） 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆
	2. 第46回現代童画展	単	2020年11月	会場：東京都美術館 （東京都）	主催：現代童画会 作品名：「雲居」（S80号） 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆
山 口 猛	(学術論文) 1. 本学におけるオンライン授業 の導入と運用の分析	単著	2021年3月	郡山女子大学紀要第 57集	本学のオンライン授業対応について、整 備対策や運用時の各種システム状況を 分析と、各種アンケート結果課題を考察 した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
仲 田 佐和子	(学術論文) 1. 「短期大学における学芸員養成課程の諸問題－制度改革と社会からの要請のはざままで－」	単著	2021年 3 月	郡山女子大学紀要第 57集	本短期大学部に学芸員養成課程が設置以降、博物館法改正や教育環境の変化、社会からの要請にどう対応してきたかを踏まえ、今後の短期大学における学芸員養成課程の在り方を論じた。
	(その他) 展示 1. 「発掘ガール展 そうだ！徳定に行こう－コロナ禍における考古学実習の記録＋研究成果展示 平安時代の土器づくりのムラ 会津若松市笹山原遺跡－」	共同	2020年 9 月～10月	大安場史跡公園ガイダンス施設	考古学実習として行った郡山市徳定遺跡発掘調査の様子と、笹山原遺跡の平安時代の調査成果を展示した。
	2. 「発掘ガールコロナ禍における考古学実習の記録＋会津若松市笹山原遺跡群のすべて」	共同	2020年12月 ～2021年 1 月	会津若松市歴史資料センター企画展示室	コロナ禍で実習先を変更して実施した郡山市徳定遺跡の発掘調査の経験を発表するとともに、昨年度まで19年間継続調査を行った笹山原遺跡の主に石器資料を展示した。
黒 沼 令	(その他) 1. イロイロ展	単	2020年 6 月	あだたら高原美術館 -ao- 福島県二本松市	共同展示会。「刹那」(210×100×100cm 櫛・楠)、「数学者」(60×20×25 cm 櫛・桐)、他 2 点出品。
	2. 二日展	単	2020年 8 月	福島テルサ 福島県福島市	共同展示会。「画家」(70×25×30 cm 櫛) 出品。
	3. 第 2 回 郡山開成学園美術展	単	2020年 8 月	うすい百貨店 福島県郡山市	「数学者」(60×20×25cm 櫛・桐)、他 2 点出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 郡山の美術 －今昔秘話展－	単	2020年 8 月	郡山市立美術館 福島県郡山市	郡山市立美術館主催の企画展。「刹那」 (210×100×100cm 樺・楠)、「漂う人」 (220×120×100cm 樺・桂・水木)、 「哲学者」(70×20×30cm 樺) 出品。
	5. 「serendipity」 黒沼令・宍戸智一 二人展	単	2020年 9 月	Cafe&Gallery1231 岩手県奥州市	共同展示会。「画家」(70×25×30cm 樺)、「数学者」(60×20×25cm 樺・桐) 他 7 点出品。
	6. 第73回 岩手芸術祭美術展	単	2020年10月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。招待として「猿 － I 」(25×10×10cm 桂・樺) 出品。
	7. 木こりの森の展覧会	単	2020年10月	福西本店ギャラリー 福島県会津若松市	共同展示会。「風」(70×20×15cm 樺・ ヒメコマツ) 出品。
佐 藤 愛 未	(著書) 1. 『葛尾村指定無形の文化財 葛尾三匹獅子舞』	共著	2021年 3 月	郡山女子大学短期大 学部	2018年から調査を開始した葛尾三匹獅 子舞の調査成果をまとめた。葛尾三匹 獅子舞の歴史、保存会所蔵史料の翻刻、 芸態、日山祭礼行事を担当する井瀬家 所蔵文書などをそれぞれ報告した。第 3 章第 4 節「祭典組所蔵史料」、資料編、 史料解説・筆耕作業担当執筆。
	(学術論文) 1. 「明治維新时期における藩校運 営の移行過程に関する一考察」	単著	2021年 3 月	郡山女子大学紀要第 57集	近世期に各藩に設置された教育機関 (藩校) が明治初年の地方制度や教育 制度の変動に伴い、どのように運用さ れ、変化したのか、主に東北の各藩の 動向を調査した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 展示「発掘ガールコロナ禍における考古学実習の記録+会津若松市 笹山原遺跡群のすべて」	共同	2020年12月 ～2021年1月	会津若松市歴史資料 センター企画展示室	コロナ禍で実習先を変更して実施した 郡山市徳定遺跡の発掘調査の経験を発 表するとともに、昨年度まで19年間継 続調査を行った笹山原遺跡の主に石器 資料を展示した。
和 知 剛	(その他) 1. 平成30年著作権法改正とデジ タルアーカイブ	単著	2020年8月	大学図書館問題研究 会誌 46号	
米 本 順 子	(その他) 1. 郡山開成学園美術展	単	2020年 8月12日～18日	うすい百貨店（福島 県郡山市）	グループ展。 『two』 F20号
	2. 第4回コレカラノヒトたち展	単	2021年 2月22日～28日	銀座ギャラリーあづ ま（東京都中央区銀 座）	グループ展。 S10号、F4号 計2点。

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人大学・短期大学基準協会	理事長 大学・短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
【郡山女子大学】		
紺 野 信 弘	郡山市あさかの学園大学	講師・「生涯学習講座」
山 形 敏 明	全国建築系大学教育連絡協議会	「全国建築系大学教育連絡協議会」総会において連絡代表責任者として議案について審議する。
	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。
安 田 純 子	福島県留学生交流推進会議運営委員会運営委員	留学生交流事業協力、会議等の出席
	郡山市国際交流協会運営委員会委員	郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席
	福島県医療福祉関連教育施設協議会理事	事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修準備
熊 田 伸 子	福島県介護サービス苦情処理委員会	委員 福島県国民健康保険団体連合会で受付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した
	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第八次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画策定に向けて審議した
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した
	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画進行管理委員会	委員（副委員長） 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会『第4次地域福祉活動計画』（2018～2021年度）の進行管理及び各事業の今後の方向性について協議した

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	本宮市保健福祉行政推進協議会	委員 本宮市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（素案）について審議した
	鏡石町（仮称）健康福祉センター建設事業委員会	委員 （仮称）健康福祉センターの図面（案）及び機能について協議した
	社会福祉法人くわの福祉会	監事 当法人の業務執行状況について監査を行った
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
関 川 悦 雄	郡山市教育委員会協力委員	小・中学校使用の教科用図書の選定
	郡山看護専門学校講師	「教育学」の講義
	関東教育学会理事	当学会の全般にわたる運営を図ること、紀要の編集や大会校の選定・大会事業などを支援し協力すること、その他学会の発展に寄与するような活動を行うこと。
山 本 裕 詞	リソース・センター one（ワン）監事	児童生徒の発達支援や指導者育成等を行う特定非営利活動法人リソースセンター oneの監事として、当該法人活動の監査を行った。
石 原 正 道	郡山市個人情報保護審議会	委員 市等からの諮問への審査・答申と情報保護評価の点検を行う。個人情報保護の推進への意見を述べる。
	郡山市情報公開審査会	委員 市等からの諮問に応じ、審査・答申を行う。情報公開の促進に関する事項について意見を述べる。
	放送大学福島学習センター	非常勤講師。専門科目（自然と環境）における科目「真空から学ぶ物理学」を担当した。
堀 琴 美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室（郡山市主催）	講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「DV・虐待の被害者支援」を担当。
	社会福祉法人 福島いのちの電話	スーパーバイザー いのちの電話の相談に携わる相談員（ボランティア）のスーパービジョン（面談による技術指導と相談員のケア・支援）を行う。
	臨床心理学実践講座	顧問・講師 新しい国家資格として創設された公認心理師の国家試験合格者（主に郡山市在住のスクールカウンセラー、社会福祉士など）を対象に、臨床心理士が実践に役立つ研修やトレーニングを行って、公認心理師を支援する団体が発足した。この団体の顧問として、実践講座の運営等に関するアドバイスや、実践講座の講師を継続的に行っている。
	放送大学福島学習センター	客員准教授 学習相談およびゼミ形式の授業を担当した。
	郡山看護専門学校	非常勤講師 「心理学」を担当した。
阿 部 恵利子	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。
	福島県森林審議会委員	福島県における森林・林業の計画等を審議する。
	福島県森林林業緑化協会	森林・林業の新しい技術や知識など広範囲にわたる情報を発信する。
	月刊『林業福島』執筆	
廣 野 正 子	令和2年度郡山市内大学との協定に基づく連携事業	委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進をした。
	NPO法人福祉デザインLab	理事 運営や企画に携わる。
瀬 谷 真理子	福島県文化振興審議会	委員・福島県の文化振興を図るため設置された委員会において本県の文化振興の在り方等について審議する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
Daniel Horner (ダニエル・ホーナー)	Miharu Town's Junior High School English Oratorical Committee and Contest	Chief judge of the English speech contest. My duties are to recruit new judges, preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to ameliorate the contest.
	University of Wisconsin - Eau Claire Alumni Association	Coordination of international exchanges of information, teachers and students between Fukushima and Wisconsin State, USA.
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会 幹事	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に幹事として携わった。
	日本建築学会民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。
	高畠石の会 顧問	「高畠石の会」(山形県高畠町)の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。
	国見町文化財保護審議会 委員	国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	三春町歴史民俗資料館運営協議会 委員	三春町歴史民俗資料館運営協議会の委員として、同資料館の運営について協議し、三春町の歴史や文化の向上にむけた取り組みを提案した。
	熱中小学校 社会科教員	NPO法人はじまりの学校
	受託調査事業：伊藤久男生家の建物調査	本宮市伊藤久男の生家に関する建物調査を実施し、解体予定の主屋と前蔵、および修理予定の文庫蔵に関する所見を作成し、各棟の実測調査により図面を製作した。
	受託調査事業：三春町旧吉田家住宅主屋および紫雲閣の国登録有形文化財申請	旧吉田家住宅の主屋および隣接する土蔵の紫雲閣について、国登録有形文化財に申請するための各種調査を実施し、所見を作成して文化庁に提出した。なお、主屋および紫雲閣は、国登録有形文化財に登録された。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	講習会：ヘリテージマネージャーステップアップ講座講師	講習「国登録有形文化財登録申請の所見のまとめ方」主催：福島県歴史的建造物保全活用推進協議会
	シンポジウム：災害の記憶を継承するまちづくりをどのように進めるか 司会	東日本大震災10周年シンポジウムの開催に向けて、日本建築学会東北支部の歴史・意匠、地方計画、建築計画の3部会を中心にこれまでの取り組みと今後のまちづくりについて意見交換を行った。主催：日本建築学会東北支部
	体験イベント企画・運営：石工 フェス in 石蔵2020	国登録有形文化財に認定された旧小坂村産業組合石蔵を会場に国見石の魅力を再発信するイベントの企画・運営に携わった。主催：国見町歴史まちづくりフォーラム、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 後援：国見町、国見町教育委員会、郡山女子大学、福島民報社、福島民友新聞社 協力：JAふくしま未来、福島県左官業組合連合会
近 内 直 美	福島県社会福祉協議会運営適正化委員会	委員 社会福祉サービスに関する苦情の解決や、福祉サービス利用援助事業の適正な運営確保に協力した。
	郡山市障害者介護給付費など支給審査会	委員 介護給付費等の支給に関して、障害支援区分の審査判定に協力した。
	福島刑務支所における「女子施設地域連携事業に係る社会福祉士受刑者相談事業」	相談員 権利擁護及び再犯防止のため、受刑者との面接や、他機関との連携への助言などの支援活動を行った
	本宮市地域連携事業	「本宮市高齢者いきいき交流事業」開催における企画、運営に学生と共に協力し、高齢者生きがい対策に協力した
	福島県高齢者虐待対応専門職チーム	運営委員 福島県社会福祉士会と福島県弁護士会との協同により、虐待対応に関する研修などの企画運営に協力した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市第1層協議体	構成委員 郡山市の社会福祉に関する社会資源や市民のニーズ及び課題に関する把握、第2層協議体の構築に関して協力した。
	郡山市市民協働のまちづくり推進協議会	委員 「第二次郡山市協働推進基本計画」、「第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」の推進について協力した。
西 山 慶 治	福島県立医科大学倫理委員会	専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間（2022.7.31まで）
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）で解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義（10回）を行った（2020.4.17～7.20）
	公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構審査委員	技術等審査委員会委員として研究開発助成事業案に対する審査を実施（2020.12.23）
菊 池 節 子	福島県県中農林事務所	普及指導協力委員 福島県県中農林事務所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。
	福島県さきのこ料理コンクール	審査委員 第5回福島県さきのこ料理コンクールに係る一次審査ならびに本審査において、審査員を務めた。（令和2年10月29日・11月23日）
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった（今年度の販売はコロナ禍のため中止となった）。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	古殿町包括連携事業	本学と古殿町との包括連携協定に基づき、町の特産品であるミニトマトの6次化商品開発に携わっている。
	一般社団法人 日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会	代議員として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会東北・北海道支部	地区委員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 日本栄養士会	代議員として会の運営に携わった。
大 西 弘太郎	福島テレビ・県内ニュース 2020年6月12日	【梅雨・注意すること】《食中毒》新型コロナで定着したテイクアウト・食品ストックにも細心の注意 家庭内での食中毒を防ぐ上での留意点について説明した。
	「Jちゃんねる」(KFB福島放送) 2020年10月2日	ウイルスから体を守る専門家のアドバイス 病原体に対するヒトの感染抵抗性を高める方策について栄養学を中心に説明した。
岡 部 聡 子	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員を務めた。
	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2020/9/2～9/8	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。
	同友会大学第5回目講師 2020/11/16	「食べることは生きること～気力体力が続く身体を創る」と題して、中小企業経営者向けの講座をオンラインにて実施した。
	NPO法人プチママン主催講演会 2020/11/29	「毎日の食事を組み立てよう！～親子で摂りたい栄養素」と題して、幼児期の子どもを持つ母親を対象とした講座の講師を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
亀 田 明 美	令和２年度つながる食育推進委員会	委員：福島県教育委員会主催の、「つながる食育推進事業」に、委員として携わった。
	三春町立三春中学校つながる食育推進事業推進委員会	委員：文部科学省主催「令和２年度つながる食育推進事業」の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わった。
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会において、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を書面で行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員：福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として携わり、村内のお弁当コンクールの審査等を行った。
	県中圏域子どもも食を考えるネットワーク	委員：福島県県中保健福祉事務所が主催する県中圏域の子どもに対する食育推進を検討する会議において、委員として携わった。
	令和２年度 ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会	講師：福島県教育委員会主催 令和２年度 ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会・県中方部会において、小・中・高・特別支援学校の教職員を対象に、学校における食育の評価と子どもの食生活とQOLの関連性について講演を行った。
	健康教育に係る専門家派遣事業	講師：福島県教育委員会主催の専門家派遣事業の講師として、棚倉町立棚倉小学校、泉崎村立泉崎中学校において食育講演会を行った。
	郡山開成地区における子ども食堂運営協力	運営協力：NPO法人かぜのwa主催の子ども食堂において、プログラミングを活用した食育講座を行った。
影 山 志 保	森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」	福島県森林計画課による補助金で、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のために環境調査を実施し、施設の今後の活用方法について検討した。（2020年４月１日から現在に至る）
	水未来基金水環境保全活動事業 「猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域の研究予算を用い、裏磐梯の水質調査と特定外来生物ウチダザリガニの分布について調査した。 （2020年４月１日から現在に至る）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター客員研究員	国内大気の汚染状況について、遺伝毒性の視点からリスク評価を担当した。(2020年4月1日から現在に至る)
	一般社団法人日本家政学会東北支部幹事	日本家政学会東北支部会の運営等を担当している。 (2020年4月1日から現在に至る)
	福島県公害審査会審査委員	福島県内の公害紛争処理を担当した。 (2020年4月1日から現在に至る)
佐 藤 浩 明	2020年4月～2021年3月 2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等 郡山市推進アドバイザー	大会関連事業に係わる指導、人材育成及び助言。トップアスリートの養成のアドバイス。
黒 澤 廣 子	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2020/9/2～9/8 『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23 令和2年度第1回連携中核都市圏「全世代健康都市圏」創造事業懇談会 書面による開催 2020/12/28	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。 葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。 SDGs事業「全世代健康都市圏」創造事業について、医療・介護・福祉などに関する専門的な知識を有する者その他の学識経験者から意見を聴くことを目的とした懇談会
郡 司 尚 子	NHK福島放送局ラジオ第一 「こでらんに5」出演 「オーガニックふくしまマルシェ」出展	県内の食にまつわる取り組みを紹介する「んめえな～ふくしま」というコーナーにて、福島の食材である「えごま」を通じた葛尾村との地域連携の様子を紹介しながら本学の食への取り組みについて発信した。 (2020.4.6) 福島県主催で郡山駅前にて開催されたイベントに出展。本学の葛尾村やJA福島さくらとの地域連携活動の様子をパネルで紹介し、パンフレットやレシピを配布しPRした。(2020.9.12)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師。「食品製造」を担当した。
	2020年度福島イノベーション・コースト構想促進事業	郡山女子大学として採択され、「葛尾村におけるエゴマ産業拡大と地域活性化」について、村内でのエゴマ栽培やエゴマ商品の開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	広報「かつらお」9月号に記事掲載「かつらお自由研究 第4号」 広報「かつらお」1月号に記事掲載「かつらお自由研究 第8号」 広報「かつらお」2月号に記事掲載「えごまレシピ集発行」
	放送大学 第2学期	講師。 生活と福祉「えごまの成分と利用について」面接授業を担当。 (2020.12.12～13)
	令和2年度 第17回 食物栄養学科市民フォーラム	講師。 食と地域連携～葛尾村と食物栄養学科の取り組み～にて、「葛尾村でのエゴマ栽培を通しての取り組み」の講演を行った。(2021.1.23)
長谷川 貴 弘	郡山看護専門学校	非常勤講師：「家族社会学」を担当。
諏訪 雅 貴	日本体力医学会	評議員
	日本体力医学会東北地方会	役員
	PLOS ONE	ゲスト査読員1件
星 千 歳	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。(2020/9/2～9/8)
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。 (2020/12/23)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会の受託事業として、企業の社員食堂で提供できるヘルシーメニューを開発し、社員食堂でメニューの提供を行い、アンケートを実施しその結果を集計した。 (2020/11/1～2021/3/31)
	郡山市健康づくり推進懇談会	委員 「第二次みなぎる健康生きいきこおりやま21」、「第三次郡山市食育推進計画」の推進について協力した。
伊 藤 央 奈	復興農学会	復興農学会の事務局役員として運営に携わった。
	2020年度福島イノベーション・コースト構想促進事業	郡山女子大学として採択され、「葛尾村におけるエゴマ産業拡大と地域活性化」について、葛尾村民への健康支援活動を行った。
	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量(運動との関係)調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。2020/9/2～9/8
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。 2020/12/23
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。社員食堂向けのヘルシーメニューの開発と提供を行い、生活習慣病予防の啓発に携わった。2021年2月9日
	学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理	学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対しての栄養管理を行った。
善 方 美千子	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事：福島県における生涯スポーツの普及や、体力向上を目指す事業を推進するための理事会に出席、および学生の参画について協力。 (任期2020.7.1-2022.6.30 福島県青少年会館)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	放送大学 第2学期	生活と福祉「えごまの成分と利用について」面接授業のTAを担当。 (2020.12.12-13)
	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業2020/9/2～9/8	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。
柳 沼 和 子	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2020/9/2～9/8	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。
	郡山開成地区における子ども食堂運営協力 2020/8/1・2020/12/19	運営協力：NPO法人かぜのWa主催の子ども食堂において、プログラミングを活用した食育講座を行った。
本 間 杏 菜	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。(2020.9.2～9.8)
	「オーガニックふくしまマルシェ」出展	福島県主催で郡山駅前にて開催されたイベントに出展。本学の葛尾村やJA福島さくらとの地域連携活動の様子をパネルで紹介し、パンフレットやレシピを配布しPRした。(2020.9.12)
	放送大学 第2学期	生活と福祉「えごまの成分と利用について」面接授業のTAを担当。 (2020.12.12～13)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。 (2020.12.23)
根 本 絢 香	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2020/9/2～9/8	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。
吉 田 朱 里	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2020/9/2～9/8	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	『地域保健活動における保健事業計画の立て方』 2020/12/23	葛尾村保健師、鏡石町保健師を中心としてワークショップを企画し、各チームにサポート役として入り、町村の保健計画作成に寄与した。
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった（今年度の市販はコロナ禍のため中止となった）。

【郡山女子大学短期大学部】

齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	今年度は書面会議で委員として事業団の運営を評議すると共に、同事業団の広報活動の学内窓口となった。
	福島県立美術館運営協議会	委員として美術館の運営を協議すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	郡山市美術品収集評価選定委員会	委員として郡山市立美術館の作品収蔵を協議する会議（11/17）に出席すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	服飾美学会委員会	今年度はZoomを利用したオンライン会議で、学会運営と企画を協議し、総会、研究会等の活動を盛り上げた。
會 田 久仁子	ラジオ福島番組制作協力	月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。2020年5月4回分および11月5回分担当
	福島中央テレビ番組審議委員会	福島中央テレビ番組審議委員会に出席し、毎月提示される福島中央テレビ制作の番組について審議意見を述べている。
	郡山市環境審議会委員会	郡山市長より委嘱され2019年11月から郡山市環境基本計画の進行管理等を審議した。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。2020年11月28日（土）
	第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題採用（栄養指導論）	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。
坂 上 茂	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の講師を務めた。2020年11月28日（土）
水 野 時 子	公益社団法人 福島県栄養士会理事	福島県栄養士会理事として栄養士会の運営に携わった。
	公益信託 棚木宇巳子記念奨学英基金運営委員	運営委員長として運営に携わった。
	郡山警察署協議会委員	郡山警察署協議会に出席し、副委員長として郡山警察署の業務運営に意見を述べた。
	「食育講座」講師	11月16日（月） 会場：郡山市立守山中学校 食育講座として1年生を対象に、「バランスの良い食事について」、「弁当作りのポイント」について講義を行った。
小 林 澄 枝	葛尾村地域資源の発掘と応用支援	葛尾村の特産物「凍みもち」を使って「バター凍みケーキ」「卵凍みもち」「チョコ凍みもち」などのメニューを考案し調理・工夫を試みた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	地域貢献支援事業 藍の葉を使った商品開発	「アイチョコ」などの商品を開発し、檜葉町道の駅において12月から販売を開始し1ヶ月で100個を売り上げた。現在も継続販売を実施している。
	テイクアウト食品の衛生管理について	飲食店のテイクアウト商品の衛生管理について取材を受けた。 福島中央テレビ 2020年6月3日 ゴジテレ中放送
	令和2年度特定給食施設等講習会講師	福島県県中保健所主催 講話「日本人の食事摂取基準2020年版について 会場：須賀川市産業会館 2階研修室 1回目 8月18日（火）学校、保健所、事業所、寄宿舍栄養士対象 2回目 8月25日（火）病院、老人・社会福祉施設の栄養士対象
	コロナ太り対策について	コロナ禍における偏らない食生活について、テレビユー福島取材を受けた。 2020年9月28日（月）Nスタふくしま放送
	ミツカン酢（ポン酢CM撮影）	「ちぢみほうれん草とせりのおひたし」を調理準備し、CM撮影に参加した。 2020年9月25日 福島中央テレビ 2020年11月中旬～放送
	海と日本プロジェクト 親子料理教室 「さばける塾inふくしま」	日本さばけるプロジェクト実行委員会、日本財団が主催し親子で魚のさばき方を学ぶ公開講座を開催し、親子7組が参加した。企画・運営を担当した。 2020年11月28日（土）会場：郡山女子大学 調理学実習室 2020年12月11日（金）福島中央テレビ放送
	おむすびフェスティバル 講師	食農教育の一環として、管内の親子40組を対象におむすびレシピと作り方の講演を行った。 2020年11月29日（日）会場：JA福島さくら本店
	ネクストホープ研修会	医療福祉系の学校（8校）で学ぶ学生が多職種の仕事を理解し自分の職種が果たすべき役割を考えることを目的に研修会が開催され30名の学生が参加した。委員として参加した。 第1回研修会 2020年10月3日（土） 会場：奥羽大学 第2回研修会 2020年12月19日（土） 会場：ポラリス保健看護学院、星総合病院
	葛尾村地域復興支援	広報「かつらお」2月号に記事掲載「かつらお自由研究 第9号」

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島医療学研究会 ～幸せになる糖尿病治療を目指して～	「糖尿病医療学－病の経験のケアをする」「患者さんが幸せと感じる糖尿病治療とは」パネリストとして参加した。 2020年12月19日（土） 会場：キョウワグループ・テルサホール3階
	NHK福島放送局ラジオ第一 「こでらんに5」出演支援	県内の食にまつわる取り組みを紹介する「んめえな～ふくしま」のコーナーで葛尾村の特産物である「凍みもち」を通した村との地域連携の様子を紹介し、本学の食への取り組みについて発信した。お弁当サークル代表の学生出演の支援を行った。（2021年3月1日（月））
	うめつLS内科クリニック（福島市） 福島県立総合衛生学院	糖尿病専門クリニックにおいて、栄養カウンセラーを担当した。 看護学科 非常勤講師として「臨床栄養学概論・栄養学」を担当した。 助産学科 非常勤講師として「母子健康科学」を担当した。
	ポラリス保健看護学院	非常勤講師として「栄養代謝学」を担当した。
	内閣府 食品安全委員	食品安全モニターを担当した。
金 子 依里香	郡山市消費生活審議会委員 葛尾村地域復興支援	任期：令和2年11月1日～令和4年10月31日 広報「かつらお」10月号に記事掲載「かつらお自由研究 第5号」 広報「かつらお」1月号に記事掲載「かつらお自由研究 第8号」 広報「かつらお」2月号に記事掲載「かつらお自由研究 第9号」
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室において講師を務めた。（2020年11月28日）
澤 渡 優 喜	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」 第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題採用（食品衛生学）	2020年11月28日（土） 会場：郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。 一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
鈴 木 奈津子	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	2020年11月28日（土） 会場：郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。
加 藤 雅 子	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	2020年11月28日（土） 会場：郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。
高 橋 寿 実	地域貢献活動支援事業 藍の葉を使った商品開発	藍を使用した商品の調理や包装、パッケージ作成等を行った。「アイチョコ」などの商品を開発し、12月から檜葉町の道の駅で販売開始している。
	日本財団 日本さばける塾プロジェクト委員会主催 海と日本プロジェクトinふくしま	7組の親子が参加し、魚のさばき方を学んだ。参加者希望者の受付や案内送付、名簿作成等の事前準備や、当日の調理、会計等を行った。 (2020年11月28日)
	第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題採用 （給食計画論・給食実務論）	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第17回（令和2年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。
三 瓶 令 子	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	東北地区顧問として東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討と補佐。但し、本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、書面による審議となった。
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	東北ブロック理事として東北ブロックの審議と運営を行った。但し、本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、書面による審議となった。
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）採点委員
	郡山市地方社会福祉審議会	児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。（年に数回開催）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市子ども・子育て会議委員会	同会議委員として会議に出席し、冊子「第2期 郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」の制作・発刊や、一部見直しに携わった。（年に数回開催）
	社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	文部科学省委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」調査研究実行委員
一 柳 智 子	民族藝術学会	東京事務所理事会 6 月20日オンライン出席した。 オンライン大会理事会 7 月25日オンライン出席した。 東京事務所理事会10月11日オンライン出席した。
	比較舞踊学会理事	比較舞踊学会オンライン理事会 1 月24日出席した。
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護審議会10月27日出席した。 審議内容は、重要文化財（彫刻）銅造菩薩立像一躯に対する答申
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	7 月28日委員会に出席した。審議内容は、令和元年度「学校教育」「生涯学習」「文化」「スポーツ」の4分野における教育委員会の事務内容の報告及び点検。
小 林 徹	（委員等） 郡山市教育支援委員会委員	郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいをもつ児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。
	福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事 （研修会講師等）	肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として参加した。
	令和2年度 福島県立たむら支援学校特別支援教育研修会	2020年9月23日（水）会場：福島県立たむら支援学校春山校舎 講演「児童生徒の学びを支える自立活動の充実」

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和２年度 福島県立たむら支援学校特別支援教育 セミナー	2020年12月25日（金）会場：福島県立たむら支援学校春山校舎 講演「自立活動の指導と評価～実践例を通して～」
横 溝 聡 子	郡山市立公民館運営審議会	委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行った。
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟 全日本音楽教育研究会 全国大学音楽教育学会 福島県声楽協会 高声会 郡山女声合唱団	副代表 音楽演奏研究 会員 音楽教育研究 会員 幼児音楽研究 会員 歌唱研究 会員 歌唱研究 ヴォイストレーナー
早 川 仁	県南美術協会 令和元年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習） 本宮市民元氣いきいき応援プラザ（地域貢献活動支援事業）	事務局総務部。福島県県南地区の美術振興活動・県南美術展開催の計画、準備等打ち合わせ実施。7月19日（日） 「創作イメージと描画表現力を育む」講師 ＊今年度は新型コロナ感染対策により実施中止 子育て支援事業「いっしょに遊ぼう」通称「えぼか」の計画・実施 今年度は新型コロナ感染対策により実施中止
草 野 葉 子	アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員	福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する事業の推進。
折 笠 国 康	福島県立光南高等学校	令和２年度家庭科系列進路後援会 講師 子どもの発達と保育 2021年1月21日 福島県立光南高等学校

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県保育協議会県北支部	福島県保育協議会県北支部保育関係者合同研修会 講師 「人間の幸福とは？」 ～心理学の立場から言えること～ 2020年11月27日 福島県青少年会館
永 瀬 悦 子	矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の委員（副会長）を務めた。
柴 田 卓	小野町 保育活動（自然保育）に係る講師	「おのまちわかばたんけんたい」の指導および評価（年6回）
	三春町 保育活動（自然保育）に係る講師	「なかさとちびっこたんけんたい」の指導および評価（年4回）
	国見町 未就学児体力向上支援事業 講師	新型コロナウイルスの影響を鑑み、2020年度は直接指導ではなく運動遊びに関するICT教材を作成した。
	福島県 子どもと青年の異世代交流事業 講師	福島県内の保育・幼児教育分野の学生に対し、3回の自然遊びのワークショップを実施し、4回目に親子自然遊びイベントを開催した。
	福島県保育協議会県北支部保育士部会 講師	「自然保育の魅力と乳幼児期の自然体験の充実に向けて」講演 2020年11月10日
	日本自然保育学会 第5回大会実行委員会	実行委員長 2020年11月22日・23日 会場：郡山女子大学
	子ども里山教育活動推進検討会	会長
ポ ー ル ・ バー ナ ミ イ Paul Vonnahme	国際交流特別講座	English Lecturer: This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker.
	Japan Association for Language Teaching (JALT)	JALT Member: JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education.

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	Coaching & Leadership: This is a sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
安 部 高太郎	岩瀬地区幼稚園・こども園教育研究会第2回主任会	2020年10月23日 (木) 会場：須賀川市役所 (4階401会議室) 「教育課程編成の進め方」と題して講演した。
深 谷 悠里絵	開南幼稚園 評議員会	評議員 2020年6月24日 場所：開南幼稚園 昨年度の活動内容と予算について報告を受け、今年度の予算について審議を行った。
何 燕 生 (福島寅太郎)	(委員等) 武漢大学文明対話高等研究院『文明対話論叢』編集委員 北京大学『北大仏学』編集委員 日本宗教学会 学会誌『宗教研究』編集委員 香港中文大学『人間仏教研究』編集委員 Journal of Buddhist Philosophy (SUNY Press) Editorial Board 中山大学『漢語仏学評論』編集委員 印度学宗教学会 学会誌『論集』編集委員 印度学宗教学会 常任理事 日本宗教学会評議員	論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 学会の運営 学会の運営

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
浅 野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動
	福島県南美術家連盟	評議員 福島県南地区の美術普及活動
	国画会	絵画部会員 作品審査・運営業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	福島県総合美術展	招待作家
	郡山市総合美術展	招待作家
齊 藤 弘 久	福島県水彩画会	監事・版画部会員 運営業務、審査
	埼玉県版画家協会	理事・会員 運営業務、事務局
桑 野 聡	郡山市子ども読書活動推進委員会	2019年7月より2020年5月まで座長・委員として郡山市の「第4次子ども読書推進計画」の策定と審議を行い、完成させた。
	福島放送番組審議会	委員長・審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
會 田 容 弘	和台遺跡調査指導委員	福島市国指定史跡和台遺跡の史跡指定範囲を確定するために実施する発掘調査を学術的見地から指導を行う。
知 野 愛	福島県教育庁県中教育事務所主催 地域家庭教育推進県中ブロック会議	推進委員・県中ブロック会議に出席し、家庭教育支援に関わる団体の実践報告を聴き、家庭教育の現状と課題について協議した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会	評議員・郡山市観光交流振興公社の事業運営等について話し合う評議員会に出席し同意書の提出などを行った。
	株式会社テレビユー福島番組審議会	審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組の合評に参加し、専門領域の立場から発言し、書面審議の場合は書面で意見を提出した。
	(一社)日本家政学会生活経営学部会北海道東北地区委員	地区委員・総会(オンライン開催)に出席し北海道東北地区の活動報告を行い、「生活経営学研究No.56」に地区活動報告を書いた。
	日本農村生活学会第68回大会運営委員	運営委員・全国大会(第68回大会)の運営に関わり打合せ会議・事前準備・総会司会を担当した。
小 松 太 志	復興の灯火プロジェクト	事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの企画・運営を担当した。
	棚倉町ブランド認証審査委員会	委員 棚倉町におけるブランド品の審査・認証を担当した。
山 口 猛	福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー	情報モラルの観点から、いじめ問題等の生徒指導上の諸問題の研修会等への支援を行った。「携帯電話の取扱い指針」及び「BYODルール」の改定案に関する意見も行った
黒 沼 令	福島県美術家連盟評議委員 福島県総合美術展覧会運営委員 岩手県高等学校文化連盟	福島県美術家連盟の運営業務を行った。 今年度の福島県総合美術展は開催されなかったが、委員として開催の検討や次年度の準備業務を行った。 楯(連盟賞、テーマ賞、ポスター賞)、トロフィ(功労賞、連盟賞)の原型制作を行った。
和 知 剛	郡山市図書館 図書館協議会 委員	図書館協議会は、図書館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なう図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる。
米 本 順 子	復興の灯火プロジェクト	事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。